

平成24(2012)年度

徳島大学大学院栄養生命科学教育部 (博士後期課程)

第 3 次 学 生 募 集 要 項

(がん専門栄養士養成コースの募集を含む)

(一般・社会人・私費外国人留学生)

徳 島 大 学

平成24(2012)年度 徳島大学大学院栄養生命科学教育部 (博士後期課程)
第3次学生募集要項

本栄養生命科学教育部では、医療機関や地域社会・産業分野で活躍する高度専門職業人、また教育研究機関で活躍する先端的な教育研究者の要請を目指し、基礎生命科学から多様な医療関連知識等を含む人間栄養学に関する幅広い教育を行うとともに、社会の要請に対応できる先導的研を推進し、教育研究の成果を通じた人材育成及び社会貢献により、栄養学の発展に寄与することを目的としています。

＜栄養生命科学教育部人間栄養科学専攻のアドミッションポリシー＞

生命科学および医学に基づいた栄養学のより高度な専門知識をもち、日本国内にとどまらず世界において、人々の健康の保持・増進に寄与することができる、次のような人を求めています。

- ・ これまでに習得した高度な専門知識や技術を臨床の場で応用・発展させることのできる管理栄養士
- ・ 国内外の行政機関で、習得した高度な専門知識や技術を生かした栄養施策を企画・立案し、社会福祉に貢献したい人
- ・ 栄養生命科学に関する国内外のより専門性の高い研究・教育機関で活躍することをめざす人

I 募集人員

専攻名	定員	今回募集人員
人間栄養科学	9人	若干人

上記の募集人員には、「がん専門栄養士養成コース」若干名を含みます。

II 出願資格

入学を志願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者としします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位（学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者及び平成24(2012)年3月までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成24(2012)年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成23(2011)年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成24(2011)年3月までに授与される見込みの者
- (5) 平成元年文部省告示第118号の規定に基づき、文部科学大臣が指定した者
- (6) 本教育部において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成24(2012)年3月31日までに24歳に達した者
(注を参照)

注1) 出願資格(6)の認定について

- ① 「修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者」とは、次のア又はイに該当し、かつ、ウの要件を充たす者であること。
 - ア 大学を卒業し、又は学校教育法第104第4項の規定により、学士の学位を授与された後、栄養学関係の分野で4年以上の業務経験があること。
 - イ 大学を中途退学した者（2年以上在学した者に限る。）並びに短期大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校の卒業者その他の教育施設の修了者等で、中途退学又は卒業等をした後、栄養学の関係分野で6年以上の業務経験があること。
 - ウ 著書、学術論文、学術講演及び学術報告等において修士の学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者であること。

- ② 該当する志願者は、事前審査が必要となりますので、「最終学歴の卒業等証明書」、「入学試験出願資格認定審査調書(本教育部所定の用紙)」及び「研究業績調書(本学所定の用紙)」に論文の別刷等を添付し、平成24(2012)年2月9日(木)までに医歯薬事務部学務課大学院係(栄養生命科学教育部担当)に提出してください。

なお、ア、イに該当する志願者は、それぞれ4年以上又は6年以上の「業務経験を証明する書類(企業等の人事課長、社長等の証明するもので様式は随意)」を併せて提出してください。

注2) 社会人入試

(1)～(6)のいずれかに該当し、病院、学校、行政機関、企業及び教育研究機関等に職員として勤務しており、入学後もその身分を有するか、又は入学後に身分を有し、勤務(予定)先の所属長の受験許可を得た者としてします。

注3) 私費外国人留学生入試

(1)～(6)のいずれかに該当し、日本語が理解できる者としてします。

III 出願期間と受付場所

- 1 出願期間 平成24(2012)年3月2日(金)から24(2012)年3月6日(火)まで(土曜日、日曜日、祝日を除きます。)

受付時間は、毎日午前9時から午後5時まで。

郵送、持参とも3月6日(火)午後5時までに必着のこと。

- 2 受付場所 〒770-8503 徳島市蔵本町3丁目18番地の15
徳島大学医歯薬事務部学務課大学院係(栄養生命科学教育部担当)
(電話(088)633-9649)

(注) 私費外国人留学生は、応募に際しては、あらかじめ志望専攻指導教授に照会のうえ出願してください。

IV 出願手続

1 提出書類等

入学願書	所定の用紙に必要な事項を記入したもの(最近撮影した正面、脱帽、上半身縦5cm、横4cmの写真をはること。)
受験票	最近撮影した正面、脱帽、上半身縦5cm、横4cmの写真をはること。
修士論文等	修士論文又はそれに相当する研究成果の要旨(2,000字程度)
成績証明書	出身研究科等の長が作成した成績証明書
修了証明書等	博士前期課程(修士課程)の修了(見込み)証明書 なお、出願資格(2)に該当する者は、大学評価・学位授与機構が発行した証明書を添付すること。
検定料	検定料30,000円は、(払込の書類は所定の様式)下記、2手続(1)を参照のこと。ただし、本学大学院博士前期課程または修士課程を修了し、引き続き進学する者及び国費外国人留学生は不要。
受験許可書	現在大学院に在学中の者及び官公庁、会社等に在職中の者は、その所属長の受験許可書(様式随意) 社会人入試で受験する者は、所定の様式による。
外国人登録済証明書等	本邦に在留する外国人は、外国人登録済証明書及び研究指導教員等の推薦書を添付すること。
返信用封筒	80円切手をはり、自己の住所氏名を明記したもの(願書を直接持参する場合は除く。)

2 手続

- (1) 検定料の払い込みは、本募集要項に添付の払込用紙に検定料30,000円を添えて、最寄りのゆうちょ銀行及び郵便局窓口で払い込んでください。郵便局の領収の押印を得て、「検定料払込証明書（出願用）」を添付の台紙にはって出願手続書類と一緒に提出してください。
- (2) 入学志願者は、出願手続に必要な書類をそろえ、出願期間内に必着するように提出してください。
- (3) 上記出願書類を郵送する場合は「書留」とし、封筒に「大学院栄養生命科学教育部博士後期課程入学願書在中」と朱書きするとともに、一般、社会人、私費外国人留学生の別も明記してください。

V 入 試 方 法

入学者の選抜は、学力検査、面接、出身研究科等の長から提出された成績証明書等を総合して判定します。

1 学力検査等

- (1) 日 時・学力検査科目等
(一般入試・社会人入試)

年月日(曜日)	検 査 科 目	時 間
平成24(2012)年 3月13日(火)	外国語科目(英語) ※注	午前9時から午前11時まで
	口頭試問(研究発表と質疑応答)	午後1時から午後 5時まで

※注 外国語科目(英語)の出題範囲は、栄養学・生命科学及び自然科学関連分野とします。

(私費外国人留学生入試)

年月日(曜日)	検 査 科 目	時 間
平成24(2012)年 3月13日(火)	栄養学	午前9時から午前11時まで
	口頭試問(語学を含む)	午後1時から午後 5時まで

- (2) 場 所 徳島市蔵本町3丁目18番地の15 徳島大学大学院栄養生命科学教育部内

- 2 口頭試問 修士論文又はそれに相当する研究成果を中心として約15分以内の口頭発表を行い、それに関連して専門科目に及ぶ試問を行います。

※注 大学院博士後期課程の口頭試問の際の発表スライドについて

- (1) 口頭試問での各自の研究内容の発表は、液晶プロジェクターにより行います。コンピュータは大学で準備しますから、各自のコンピュータの持込みは認めません。
- (2) 口頭試問で使用のコンピュータは、Windows PC(OS Windows XP)で行いますから、Mac用のPowerpointで作成した人は、Windows PCで表示しても文字化けなど起こらないことをあらかじめ確認し、スライド書類の予備コピーも必ず作成しておいてください。
- (3) 午前中の学力試験終了後、各自の研究内容のスライド原稿を保存した、USBディスクまたはCD-R(受験者の氏名と受験番号を記載したもの)を担当者に渡してください。

- (ア) 日 時 平成24(2012)年3月13日(火) 午後1時から。
(イ) 場 所 徳島市蔵本町3丁目18番地の15 徳島大学大学院栄養生命科学教育部内

3 成績証明書 出身研究科等の長が作成した調査書を審査し、選抜判定の資料とします。

VI 障がいのある入学志願者について

本教育部に入学を志願する者で、障がいのある者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので平成24(2012)年3月13日(火)までに医歯薬事務部学務課大学院係(栄養生命科学教育部担当)まで申し出てください。

VII 合格者発表

合格者の発表は、平成24(2012)年3月21日(水)午前9時に医学部掲示場に掲示するとともに、合格者には本人あて文書により通知します。
なお、電話による合否についての照会には応じません。

VIII 入 学 手 続

入学手続期間及び入学手続の詳細については、おって通知します。

IX 入学料・授業料

- 1 入学料 282,000円(予定額)
- 2 授業料 前期分 267,900円(予定額) 年間 535,800円(予定額)
 - (1) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
 - (2) 入学料及び授業料は現行の金額であり、改訂されれば改訂額が適用されます。

X 育 英 資 金

独立行政法人日本学生支援機構より大学院生の若干人に対し、月額122,000円の奨学金貸与の制度があります。

XI そ の 他

- 1 入学願書受付後は、検定料の払い戻しはしません。
- 2 その他の経費(医学部後援会費等)として、入学手続の際に約37,000円が必要です。
- 3 募集要項を郵便で請求するときは、240円切手をはった自己あて(住所、氏名、郵便番号明記)の返信用封筒(角2封筒33.2cm×24.0cm)を同封の上、本学医歯薬事務部学務課大学院係(栄養生命科学教育部担当)へ申し込みしてください。(請求の際は「**栄養生命科学教育部博士後期課程学生募集要項請求**」と明記してください。)
- 4 出願手続等についての質問があれば、80円切手を貼った自己あて(住所、氏名、郵便番号明記)の返信用封筒を同封の上、本学医歯薬事務部学務課大学院係(栄養生命科学教育部担当)へ照会してください。

平成23年度 徳島大学大学院栄養生命科学教育部担当教員研究分野

平成24年1月1日現在

分野名	職名	氏名	研究分野
分子栄養学分野	教授 講師	宮本 賢一 瀬川 博子	(1) ミネラルの分子栄養学的研究 (2) 透析合併症の発症機構 (3) 長寿の栄養学
生体栄養学分野	教授 准教授	二川 健 奥村 裕司	(1) 宇宙生物学と栄養 (2) 筋萎縮の分子メカニズム (3) 蛋白質分解酵素の機能と構造 (4) ミトコンドリアと栄養 (5) Non-Coding RNAと筋肉
食品機能学分野	教授 准教授	寺尾 純二 山西 倫太郎	(1) 食品抗酸化物質の生理作用発現機構 (2) 植物性色素類の吸収代謝と機能 (3) アレルギーの発症機構と食餌性因子 (4) 食品成分の高感度分析法の開発
代謝栄養学分野	教授 准教授	中屋 豊 阪上 浩	(1) 心臓血管病変と代謝・栄養 (2) 臨床栄養（栄養評価と栄養治療） (3) 糖尿病モデル動物を用いた研究（インスリン抵抗性，動脈硬化など） (4) 諸種疾患における運動療法 (5) イオン，アミノ酸およびグルコース輸送（チャンネル，トランスポーター）
予防環境栄養学分野	教授 講師	高橋 章 馬渡 一論	(1) 食中毒の発症機構の解析 (2) 食育による食中毒予防 (3) 腸管細菌感染症の制御に関する研究 (4) 腸管でのミネラル分泌吸収機構
臨床栄養学分野	教授 准教授	武田 英二 竹谷 豊	(1) 生活習慣病の栄養アセスメントと栄養管理 (2) ヒトでの食品機能評価と機能性食品開発 (3) カルシウム・リン・ビタミンD代謝調節と重力，骨粗鬆症，腎疾患管理 (4) ストレス制御をめざす栄養科学
実践栄養学分野	教授 講師	酒井 徹 首藤 恵泉	(1) 栄養と免疫機能に関する研究 (2) 免疫疾患モデル動物の解析 (3) 学校・地域住民における公衆栄養学的研究

分野名	職名	氏名	研究分野
素材応用学分野 〔連携〕	客員教授	長尾 昭彦	機能成分を含有する食品素材に関する最新の研究情報を収集させ、その内容を議論することにより自立して研究を行うための基礎能力を養う。 応用酵素学・微生物学の観点から素材開発に関する最新論文を精読させ、機能素材の研究開発能力を養うための指導を行う。
	客員准教授	亀山 眞由美	機能素材中の機能成分の化学的特性に関する最新論文を精読させ、研究開発能力を養うための指導を行う。
機能設計生産学分野 〔連携〕	客員准教授	徳安 健	機能素材の生体利用性の観点からの素材開発に関する最新論文を精読させ、研究開発能力を養うための指導を行う。
治療栄養学研究分野 〔連携〕	客員教授	武田 伸一	筋ジストロフィー及び筋萎縮症の分子病態に関する研究情報を収集させ、その内容を議論することにより独立して研究を行うための基礎能力を養う。分子治療学と栄養学の観点から、筋ジストロフィー及び筋萎縮に対する分子栄養学的な治療開発に関する最新論文を精読させ、研究開発能力を養うための指導を行う。
疾患酵素学研究センター 病態システム酵素学研究部門	准教授	坂井 隆志	(1) ストレス等の細胞障害性ストレスにより誘発される、細胞死、発ガンの分子機酸化構の解明 (2) D-アミノ酸及びD-アミノ酸酸化酵素の脳内における生理機能の解明
疾患酵素学研究センター 応用酵素・疾患代謝研究部門	准教授	矢野 仁康	(1) 蛋白質代謝 (2) 蛋白質の品質管理と分子シャペロンアレルギー
宇宙栄養学分野 〔連携〕	特任教授	東端 晃	宇宙栄養学を含む宇宙生物学全般についての研究。 藻と線虫を利用した無重力ストレスの生体の応答等解析。